

生活単元学習指導案

場 所：八重山特別支援学 幼稚部

授業者：教諭 T 1 戸ヶ瀬哲平

講師 T 2 メンターA

講師 T 3 メンターB

1 小单元名 「豊年祭をプログラミングしよう！」

2 小单元の目標

○ 地域のお祭りを友達と協力してプログラミングで再現することで、大きな動く作品を制作することを楽しむ。

3 我が国の伝統文化とのかかわり

特別支援学級では、伝統文化教育で目指す児童像を「季節の行事や生活の中の伝統文化に親しみをもつ児童」「季節の行事や生活の中の伝統文化のよさを知る児童」と設定した。学習活動を通して、日常生活に溶け込んでいる伝統文化に触れる機会を設け、そのよさやおもしろさを体験させたいと考える。

また、このテーマを台座として祭りに登場する「獅子舞」や「旗頭」などを絵で表現し、動作をプログラミングする作業を通して、参加する児童がその特性に応じた「プログラミング的思考」や「共同作業」をそれぞれに楽しんで取り組むことができるよう学習を支援していきたい。

4 幼児の実態（2名）

幼児	本小单元にかかわる実態
A	・お祭り大好き！祭りの状況を正確に説明して絵で再現できる。 ・タブレットを使いこなし好きな動画を検索して閲覧することができる。
B	・おとなしい性格で、指示に従って作業をすることができる。 ・友達の遊びをまねて、自分のスタイルで表現する意欲がある、

5 本時の指導

(1) 本時のねらい

- 自分の体験を言葉や絵で表現し、友達と共有できるようになる。
- プログラミングで制御可能な絵を制作できるようになる。
- 友達と協力してより大きな作品を作れるようになる。

(2) 準備物

教師：タブレット、スタイラスペン、プロジェクター、スクリーン、インターネット回線
お祭りの動画（動画リンク）
幼児：タブレット、スタイラスペン。

(3) 本時の学習過程

段階	学習活動	・指導者の働きかけ と ◎指導上の留意点
導入 12. 12	3 種類の祭りの写真と動画をみて、それぞれの特徴について話し合う。	・視覚情報だけでなく聴覚情報への注意も促す。 ◎それぞれの祭り真似をするなど、楽しい雰囲気づくりをして気持ちを高める。
	・リオのサンバカーニバル： https://youtu.be/1bpFAfc38a0	
	・青森ねぶた祭： https://youtu.be/L_1qyVURSec	
	・八重山の豊年祭： https://youtu.be/_MzXhZElqvs https://youtu.be/umfzQEOWwSg	・家族との思い出など発言できるよう支援する。 ◎友達が発言しているときは注目させる。
展開 12. 14	絵描き歌「島の獅子舞」を聞き、歌いながらタブレットに絵を描く。	・歌に沿って部品を描き加えていくことで、次第に絵が完成していくことに気付かせる。 ・メガネの中の位置を変えることで動きが変わることを楽しませる。 ◎タブレットやビスケットの操作でつまづかないように支援する。
	絵描き歌を歌いながら描き、ビデオで撮影する	・youtube で配信することを伝え、活動へのモチベーションを高める。
まとめ 12. 15	ビスケット内で、獅子の絵を描く。 獅子をメガネに入れて動くことを体験する。 ビスケットで獅子を動かすことを、ビデオで撮影する。	・ビスケットを使うことで、絵が動くことを経験させる。 ・ビスケットの細かい使用方法については、幼児の活動の中での興味関心の程度によって伝える内容を決定していく。 ◎「旗頭」や「太鼓」など、獅子舞以外の祭りの要素に関しても、ビスケットプログラミングで遊ぶ意欲を持たせる。